

大阪・関西万博への協賛品に関するお知らせ
～AIを用いた現場指揮支援システムなどの実証実験を実施～

株式会社モリタホールディングス

株式会社モリタホールディングス(本社:大阪、代表取締役:金岡 真一)は、2025年4月13日(日)～10月13日(月)に開催される「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」に、AIを用いた現場指揮支援システムや、日本初の実運用されるEV消防ポンプ自動車^{*}など、「未来社会における最適な消防活動の実現」を目指した最新鋭の消防車両及び機材を協賛いたします。

^{*}日本国内において実運用される「EV消防ポンプ自動車」として(2025年3月、自社調べ)

1. 概要

当社グループは、『「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で、人と地球のいのちを守る』というパーパスを掲げ、複雑化・激甚化する災害現場の課題に対し、大阪市との連携協定のもと「未来社会における最適な消防活動の実現」を目指し、大阪市消防局と共同研究開発を推進しております。災害時における要救助者の迅速な救助と火災の早期鎮圧を目指し、災害現場におけるDXを推進する新たな「ソリューション」を提案いたします。大阪・関西万博で、大阪市消防局と実証実験に取り組み、安心安全な街づくりに貢献いたします。

*連携協定について

モリタホールディングスは大阪市(市長:横山 英幸)と2024年5月27日に連携協定を締結し、未来社会における最適な消防活動の実現を目指した共同研究開発を官民一体で推進しております。



主な協賛品

MVF21、EV指揮車、指揮卓、EV消防ポンプ自動車、EV巡回車



現場指揮支援システム(イメージ図)

2. 主な協賛品

● 現場指揮支援システム及び EV 指揮車



隊員のウェアラブル装置

現場指揮支援システムは、災害時における要救助者の迅速な救出と火災の早期鎮圧を目指します。本システムは、隊員のウェアラブル装置などと連動し、指揮本部で必要な火災現場の火点、建物、要救助者・隊員の位置、進入経路、隊員のバイタル、消防車両などの情報をリアルタイムで大型のタッチパネルを備えた指揮卓上に表示させることができます。直感的な指揮対応を可能にし、さらには、AI を活用して最適な消火・救助・救急活動の判断を支援します。本システムを EV 指揮車に搭載し、未来社会における最適な消防活動を提案いたします。

● EV 消防ポンプ自動車



ゼロエミッション、低騒音・低振動化を実現し、日本で初めて実運用される EV 消防ポンプ自動車です。日本の道幅の狭い道路に対応するため、独自開発した ePTO(EV 専用ポンプ駆動システム)と e-Fire Pump(EV 専用ポンプ)を、車両後部にレイアウトすることでコンパクト化を実現。また、タブレットによるポンプや吐水口などの各コックの遠隔操作を可能にした他、ホースカーの昇降装置など省力化にも貢献する設計となっています。

● 21mブーム付多目的消防ポンプ自動車 MVF21、EV 巡回車



複雑な形状のパビリオンを持つ会場での災害を想定し、先端が屈折するブームに加え、車椅子のまま救助できる国内最大級のバスケットを持つ MVF21 を協賛。会場内の予防巡回業務に使用する EV 巡回車には 360 度カメラと通信機能を搭載し、災害時はカメラ映像を指揮システムにライブ配信するとともに、移動式通信中継器として現場のネットワークを構築いたします。

本件に関するお問合せ先
株式会社モリタホールディングス グループ戦略本部 経営企画室 広報課 担当:石橋、町田
TEL:03-6400-3485